

2019年10月25日（金）

愛知県立大学多目的ホールで、
愛知県立大学生涯発達研究所連続セミナー

「多文化社会における多職種連携—教育と福祉の現場から—」の
第2回「教育現場における多文化共生の今」が開催されました。

- ・弓削恵理子氏「学校における日本語指導の必要な子どもとその家庭への支援」では、愛知県は他と比べて外国籍の児童生徒が突出して多い県であることが示された上で、瀬戸市で実践する日本語教室での生徒および家族への指導および支援、保育園と学校が連携する日本語プレスクールでの実践、ICT 遠隔システムを使った授業の実際等について報告されました。
- ・アンドレア・カールソン氏「LGBTQIA の生徒のためのインクルーシブな学校づくり」では、学校において多くの LGBTQIA の生徒がいじめや自殺のリスクを抱えているにもかかわらず、周囲の理解が乏しく専門支援者が足りない現状が指摘され、実際の事例に基づいて当事者の気持ちの理解に関することやサポートのあり方について報告されました。
- ・一般参加者の他に、学生・院生の参加もあり、予定時間を超過してフロアと登壇者との間で活発なやり取りがなされました。

